



まなびやまと

将来の大和市をこんなまちにしたい！

子ども議員の山崎咲来さん（柳橋小6年）は、「大和市に住む外国の方や子どもたち、県外の方々に、阿波おどりを通じて大和市の良さが伝わってほしい。そのため、誰もが参加できる『にわか連』をさらに活発にすることなどが大切」と意見を述べました。また、同じく子ども議員の和真さん（大和小5年）から、◆欲が感じ



を守り、さらに新しい文化をつくり出すために、シリウスの芸術文化ホールや大和阿波おどり、大和市民まつりなどにに関する意見が出されました。多くの子ども議員から「シリウスを文化の中心としていきたい」「音楽イベントなどを企画したい」といった声があがる中、「どうすればより多くの人がシリウスに足を運ぶようになるか」という観点での意見もありました。

第一グループ「文化」について やまとあたらぶんか 大和の新しい文化をつくり出だそ

「子ども議会」って何?

「子ども議会」って何?

大和市制60周年記念事業 「子ども議会」開催

◆子ども記者◆

みどりのしょうがっこう
緑野小学校

おざわりん
小澤 紘

ひきじだいちゅうがっこう
引地台中学校

ばばしゅうと
馬場 栄斗

「のまでは地球が危ない」 第2グループ「地球環境」について

ついて学ぶことができました。
気持ちを伝えるには、文を読むときの強弱など、発表のし方が大切だと感じました。

(第一グループ・子ども議紗良さん)

長・浦塚

(大野原小6年)



A young girl in a dark school uniform stands at a podium, speaking into a microphone. A young boy in a dark suit stands behind her, also in uniform. A Japanese flag is visible in the background.

「感想インタビュー」
「子ども議会は、10年に一度の貴重な体験だと知り、挑戦してみることにしました。議会では各子ども議員から様々な意見が出され、すごいと思いました。」
（第2グループ・子ども議員・伊井健太さん（桜丘小6年））

「議会」とは、選挙で選ばれた議員が集まつて行う会議のことで、市のきまりやお金のつかい方などを話し合う議会のことは「市議会」といいます。今回は、各学校から代表の子どもたちが集まつて会議を行うのです、「子ども議会」と呼んでいます。

「議場」とは、会議を行ふ会場のことをいいます。

大和市議会は、大和市役所の5階にある「本会議場」(右下の写真の場所)で行います。今回の子ども議会で、もこの会場で開催されました。

「今の生活を世界の人々がそのまま続けていくと、地球温暖化や環境破壊も進み、すべての生き物の命が脅かされていくのではないか。では、これから私たちはどうしていけばいいのだろうか?」子ども議員の意見は、大和市から地球にまで及びました。

子ども議員の木崎 遼彦さん（緑野小6年）は、「みんなでできるエコキヤップ運動」として、駅や公共施設など、多くの人が利用するところにボトルキヤップの回収ボックスを設置するという提案をしました。

また、「ポイ捨てをなくすために、ごみを捨てると有名人の『ありがとう』という声が流れるごみ箱を作るなど、ごみをきちんとごみ箱に捨てたくなる工夫をするといいのでは」と提案したのは、子ども議員の西田 和輝さん（南林間中一年）です。「ポイ捨てをなくすことは、川や海、動植物を守ることに繋がる」と語りました。

北野 夢果さん（文ヶ岡小6年）は、「土の洪水抑制力」「緑の土砂災害抑制力や防音効果、空気清浄力」などを例にあげ、環境保護の大切さについて訴えました。「市民で協力して花や樹木を植え、泉の森のような、安心できる環境の場所を増やしたい。市外の方に『次の休みには気分転換に大和に行こうか』と言つてもらえたたら嬉しい」と語りました。

他にも、「大和市から地球環境について改善していく」と、ポイントカードシステムの導入、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進める、プラスチック製品の使用を減らす、「ペットボトルリサイクルのまち大和」を目指すなど、様々なアイデアが出されました。

市長、教育長、議員の仕事

「市長」は、市民の直接選挙で選ばれた、市のリーダーです。市の予算案を作成したり、市議会に対し議案を提出したりするなど、市民が幸せに暮らせるまちづくりのための仕事を進めています。

「教育長」は、教育委員会の代表で、教育委員会の会議を主宰しています。子どもたちにとって学校が豊かな学びの場となるように、仕事を進めています。

市議会の直接の代表である「市議会議員」は、市議会に出席して意見を述べます。幅広い世代の願いや訴えを聞き、その内容をよく調べて市政に反映させる役割があります。

第4グループ「大和市の未来」とは

子ども議員からは、「ごみのないまち」「住みよいまち」の2つの視点から、様々な意見が出されました。その全てに共通するのは、「大和市が好き。より良いまちにしたい」という思いでした。



(つきみ野中2年)



【感想】
インタビュー

「最近、スマートフォンのゲームなどに熱中している人が多くなった」という子ども議員の上村太遥さん(深見小6年)は、「みんなに自然と触れ合う楽しさを知ってほしい。スポーツや外遊びをする人が少ないと感じました。また、子ども議員の金指優良さん(北大和小6年)は、「みんなで自然を行い、みんなでスポーツを楽しみながら無料で参加できるイベントなどを行ってほしい」と話しました。また、子ども議員の平澤俊大さん(林間小6年)は、「年をとっても元気で楽しい生活を送りたいとの願いから、普段の学び」と触れた。」



【感想インタビュー】

全議員の中から一人だけ選ばれる「議長」。



その大切な役割について、調べてみました。



【大和市の小中学生に、メッセージをお願いします】

「子ども議会の感想を教えてください」

【実際に議会で答弁をされる際に、心がけていることは何ですか】

「子ども議会後、大木哲市長にインタビューをしました。」

「実際に議会で答弁をされる際に、心がけているつもりで話しています。」

大木市長インタビュー

「今日は市議会議員さんが全員出席されたので、今後の議会で皆さんのお意見を参考にした質問が出されるかもしれませんね。」

「皆さんの意見も色々でした。今日は市議会議員さんが全員出席されてるので、今後の議会で皆さんのお意見を参考にした質問が出されるかもしれませんね。」

☆編集後記☆

◆子ども議会を通して、10年に一回というとても貴重な体験をさせていただき、とても嬉しかったです。議会当日まで、すごく緊張していましたが、とても楽しかったです。10年後には、どんな大和市になつているのかが楽しみです。(綱)



こども版「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、小中学生に向け、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。お読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

お問い合わせ>大和市教育委員会 指導室260-5210

教育研究所 260-5213